

小学校の統合に向けた地域説明会（天名小学校 11月26日開催分）
結果概要

- 日 時：令和4年11月26日（土） 10：00～11：30
- 場 所：天名小学校 屋内運動場
- 対 象：小学校の保護者，入学予定者の保護者，学校運営に携わった方，
地域の方々

○参加人数：57人

○出席者：・教育委員会事務局

教育長

教育次長

参事

参事兼教育政策課長

教育政策課主幹兼政策推進グループリーダー

学校教育課副参事兼教職員グループリーダー

・事務局

教育政策課政策推進グループ

○開催概要：次のとおり

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 教育長挨拶
- 4 資料説明（これまでの経緯，再編の考え方，今後の取組等）（教育政策課長）
- 5 質疑応答

（参加者）

- ・ 令和8年度に統合した場合，既に天名小学校に通っている児童の対応はどうなるのか。令和8年度になれば郡山小学校に行くことになるのか，それとも，卒業までは天名小学校に通学することになるのか。

（教育委員会事務局）

- ・ 令和8年4月の統合となれば，天名小学校及び合川小学校の児童全員が郡山小学校に通学することを想定している。

（参加者）

- ・ 小学校の統廃合を通じて経費の削減を行うことを目指しているように感じる。
- ・ 10月に教育政策課の職員に学園制加配について，活用してほしい旨を伝えた。
- ・ 学園制加配とは，例えば，天栄中学校区を一つの学園とし，天名小学校，合川小学校，郡山小学校，栄小学校を，天栄小学校と名称が変わると仮定し説明する。
- ・ 天名小学校であれば，天栄小学校天名校舎として校舎は残ることがポイントになる。
- ・ 1年生から4年生の児童は，徒歩で分校である校舎に通うことになる。そうすることで，低学年の児童がスクールバスを使って郡山小学校に通うという危険性を

排除できるほか、地域で育てる環境を維持できる。

- ・ 例えば、郡山小学校を天栄小学校本校舎と位置付ければ、5年生、6年生はスクールバスを使って本校舎に通うことになる。
- ・ 本校舎に通うことになるのは、5年生と6年生だけになるので、現在の郡山小学校の教室数でも対応が可能と考えられるほか、切磋琢磨できる環境が整うことになる。
- ・ この制度では、天栄中学校区を一つの学園とみなすことから、5年生、6年生の段階から中学校の先生が、英語や数学を指導できるようになり、いわゆる中1ギャップを回避できるのではないかと考える。
- ・ 1年生から4年生の間は、仮に複式学級になったとしても、逆に低学年のうちには、複式学級の良さが生きてくるということもあるのではないかと考える。
- ・ 山口県美祢市の場合でも、複式学級のまま学校が運営されている。
- ・ このように、学校が運営されると、地域のコミュニティの核である学校が存続されるとともに、まちが消えるということも回避できる。
- ・ 1年生から4年生の間は、例えば、週に一度など、本校に通うことで交流が生まれ、切磋琢磨することも可能である。
- ・ 天名小学校を存続させるか、廃校にするかという二択ではなく、学園制加配を使った選択肢も検討いただけないのか。
- ・ 10月に教育政策課の職員に、この内容を伝えたが回答をいただけていないので、この場で意見させていただく。

(教育委員会事務局)

- ・ 教育委員会としては、子どもたちのより良い学習環境を提供するという考えを持ち、様々な検討を重ね、本日の説明をさせていただいていることを、まず、理解いただきたい。
- ・ 10月にも提案いただいた学園制加配については、現在のところ、課題点の洗い出しなど研究もしていない。
- ・ 現段階では、学年で通う学校を分けるのではなく、統合という形で再編を進めていきたいと考えている。
- ・ また、通学については、保護者や地域の皆様も非常に気にいただいている分野ということは十分承知している。今後、専門的な知見も借りながら、安全、安心な通学環境を整えていけるよう検討していくので、御理解いただきたい。

(参加者)

- ・ 今年の8月に文部科学省が発表した「学校魅力化フォーラム」の資料がある。
- ・ この資料は、インターネットで検索すれば誰でも閲覧できるものである。
- ・ その中で、文部科学省は、小学校を統合する際、既存の校舎を1年生から4年生が通う分校として存続することは、現行制度で可能であると説明している。

(参加者)

- ・ 一人の発言が長いので、別の方に、発言機会を回してほしい。

(参加者)

- ・ 再編の考え方の中に、同じ天栄中学校区である栄小学校が入っていないのは、なぜか。

- ・ 良い悪いという意見ではなく、検討経緯や意図を伺いたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 今回、お示した再編案を検討する中で、近い将来、複式学級が発生する見込みの天名小学校、合川小学校への対応を第一に考え、それを解消する手段を検討してきた。
- ・ その中では、栄小学校も含めて検討を行ってきた。
- ・ 合川小学校を含めて考えると郡山小学校が最も近隣であるということ、校舎の受け入れ能力等を踏まえて、まずは、郡山小学校へという形での再編案としている。
- ・ 資料の中でも触れさせていただいたが、今後も児童数の減少が見込まれていることから、栄小学校を含めた南部全体で、今後、どうしていくのかということについては、引き続き検討していく。

(参加者)

- ・ 統合するとなった場合、受け入れ先となる郡山小学校の施設は、どうするのか。改修や増設など検討しているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 郡山小学校は、天名小学校や合川小学校の児童を受け入れるだけの教室数は確保できていることから、必要な修繕などは行い準備をしていく。

(参加者)

- ・ 5年生の保護者である。
- ・ この件について、小学校での取組を含めて、これまで子どもたちへ説明をしたことはあるか。

(教育委員会事務局)

- ・ 子どもたちへの説明は行っていない。
- ・ 現在、再編の方向性の案を示させていただいているところである。
- ・ 今後、方向性が決まれば、今後、どのように進んでいくのかということも含めて、教育委員会事務局と学校が連携して、子どもたちにも説明をしていかなければならないと考えている。

(参加者)

- ・ 子どもは、最近、この話を知った。
- ・ 私自身は、保護者として統合に賛成である。今のままでは、競争心が芽生えにくい。ある程度のクラス数があった方が良く思う。
- ・ 子どもと話す中で、「友達と歩いて通えないのかな」と言っていた。
- ・ 子ども中心と言いながら、子どもの気持ちは十分に反映されていないように感じる。

(参加者)

- ・ スクールバスになった場合、金額の負担などはどうなるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 統合案が決定した際には、速やかに検討に入っていきたいと考えている。
- ・ スクールバスについては、金額の話もちろんであるが、コースをどうするのかといったことなど検討すべき事項が多くあることから、統合案が決定した後に

は、課題の整理を行い、保護者や地域の皆様には、情報提供をさせていただきながら進めていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 説明会など意見交換の場は多く設定いただいているが、内容にあまり進展が見られないように感じる。
- ・ スクールバスは、子どもの学校生活に直結する部分である。今後は、保護者やこれから小学校に入る子を持つ親の意見を十分に聞いて進めてほしい。

(教育委員会事務局)

- ・ 事務局としては、今後進めていく中で情報提供を十分に行い、皆様の御意見や考えを吸収させていただきながら、制度を構築していきたいと考えている。
- ・ 今後とも、御協力をよろしくお願いする。

(参加者)

- ・ 子ども会の会計をしている。
- ・ 今後、どのようにしていくか考えているところである。
- ・ いつ、決定するのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 本日、お示した資料の最後のページにも記載をさせていただいたところであるが、決定した後は、具体的に検討をしていくことになる。
- ・ 課題の中には、3校の保護者の皆様にお集まりいただき検討していくものや、天名小学校や合川小学校の保護者の皆様中心に御意見を伺うものなど、様々であると想定している。
- ・ その際には、御意見や御知恵をいただければありがたいと考えているので、今後とも、御協力をよろしくお願いする。

(参加者)

- ・ 統合後の学校の名前はどうか。郡山小学校のままになるのか。
- ・ 校歌も、郡山小学校のままになるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 校舎は、既存の郡山小学校を使うことを想定しているが、学校名や校歌については、今後、皆さんの御意見を伺いながら検討していくものだとして認識している。

(参加者)

- ・ 未就学児を持つ母親である。
- ・ 子どもたちの教育環境を整えていくということであれば、複式学級になっても、手厚く育てていくことも一つではないかと考えている。
- ・ 資料に記載のあるアンケートでは、既に小学校を卒業された保護者が多く含まれており、私のような未就学の子を持つ親の意見が、あまり反映されていないように感じる。

(教育委員会事務局)

- ・ 複式学級を希望される保護者様など、様々な意見があることは教育委員会事務局としても認識している。
- ・ 一方、複式学級を避けたいという御意見を持つ保護者様がいらっしゃることも事実である。

- ・ 教育委員会としては、基本方針を策定する中で、有識者で構成される検討委員会から、複式学級がある過小規模校を避けるべきとの提言をいただいているところである。
- ・ 教育委員会事務局としては、基本方針に基づき、過小規模校を避ける方向で再編を進めていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 以前、郡山小学校の施設を見学させていただき、意見交換に参加させていただいた。
- ・ その際、亀山市では複式学級で授業を行っている小学校があると聞いた。
- ・ 教育政策課の職員にはお伝えしたが、複式学級はこういうものだということが分かるように説明していただきたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 亀山市では、加太小学校などで複式学級が行われている。
- ・ 鈴鹿市では、多くの考えに触れ、認め合い、協力し合う、そんな機会を学校生活の中で作っていききたいという考え方にに基づき、これまで検討を進めてきた。
- ・ 統合となれば、保護者の皆さんをはじめ、子どもたちの中で不安な気持ちが湧いてくると思う。統合して、やっぱり駄目でしたとなれば子どもたちは混乱することから、現在、慎重に検討を進めてきていることを御理解いただきたい。
- ・ 今後、方向性が決まれば、子どもたちが統合に向かって、わくわくするように、交流機会を増やしていきたいと考えている。
- ・ 例えば、chromebook を使ってオンラインで交流することも可能である。社会見学や音楽会の様子など情報交換をすることも一つである。
- ・ 3校の良さを自慢し合えるような機会を作り、良さを共有していくことも考えていきたい。
- ・ 現在も交流機会はあるが、機会をもっと増やしていけるよう、学校長とも協議して行きたいと考えている。
- ・ 統合した時には、以前から友達だったような気持ちで迎えられように、様々な工夫をしながら進めていきたいと考えているので、御理解をよろしく願います。

(参加者)

- ・ 質疑応答を時間で区切るのであれば、発言機会が均等に与えられるよう工夫してほしい。

(参加者)

- ・ 統合後の学校は郡山小学校になることは理解できるが、天名小学校や合川小学校が郡山小学校に吸収合併されるという考え方ではないとの理解で間違いはないか。

(教育委員会事務局)

- ・ それぞれの学校には歴史や伝統がある。
- ・ 吸収という考え方ではなく、対等な形で再編を進めていく考えであることから、郡山小学校での説明会でも、しっかりと説明していく。

(参加者)

- ・ 統合により不登校にならないよう、カウンセラーなど対応もしっかりとしてもらえるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 不登校は大きな問題と捉えている。
- ・ 小規模な小学校から中学校へ進学した時に、不登校になる率は高い現状にある。
- ・ 統合となれば、不登校については、しっかりと考えていきたい。

(参加者)

- ・ 天名小学校や合川小学校は明治時代に創立されており、非常に長い歴史がある。
- ・ 小学校は地域を象徴するものである。
- ・ 議論を聞いていると、その部分を認識しているのか見えない。
- ・ 今回の統合が、鈴鹿市で初めてとなると、これは市として今後どうしていくのかという議論になる。
- ・ その部分が今回の説明では、あまり見えなかった。
- ・ そういった部分は、今後の説明の中で意識をしていただきたい。
- ・ 小中一貫校の議論に、すぐに行かないのはなぜか。
- ・ 以前、教育政策課の職員と話した際、それは財政的な話もあるとのことであった。
- ・ 今回の統合で郡山小学校の改修を行い、その後に小中一貫校の検討という方が、経済的でないように感じる。
- ・ これは、この地区だけの話ではなく、市全体の話になるのではないか。
- ・ 今回は、適正規模をどう確保するのかという切り口であるが、今後の教育のあり方をどうしていくのかという議論も含めた形にしていかなければならないように思う。
- ・ 特に、その中でも、小中一貫校の議論にすぐに行かない背景をしっかりと教えてほしい。

(教育委員会事務局)

- ・ まず、小学校が地域の象徴という点については、基本方針の中でも地域コミュニティの核として、しっかりと配慮して取組を進めていく旨を記載している。
- ・ 例えば、体育館で見れば、地域の方にスポーツ、レクリエーション活動で活用いただいているほか、災害時には避難所にもなる。
- ・ そういったことも踏まえて、今後の検討は進めていく必要があると認識している。
- ・ 小中一貫校については、これまでも多くの意見をいただいている。
- ・ 小中一貫校については、天栄中学校区全体の話となり、課題も多くある。当然、その中には、校舎をどうするのかという議論もある。
- ・ まずは、天名小学校と合川小学校の複式回避をどうするかということを検討しながら、更なる児童生徒数の減少を背景に、天栄中学校区、本市の南部地域をどうするのかという問題については、小中一貫校も選択肢に含めて引き続き検討をしていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 体育館などハード施設だけの話をしているのではなく、各学校の歴史や文化をどう継承していくのかという話をしている。
- ・ 小中一貫校の話は、次の時代に引き継いで考えていくという風に聞こえる。

- ・ そうなのではなく、中長期的にこのようにする、そのために目先の対応として、このように対応するという説明はできないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 今回の再編の話は、近い将来、発生する複式学級への対応がある。

(参加者)

- ・ 複式学級は、児童数が一定数を下回ると、配置される教員の人数が少なくなるものだとして理解している。
- ・ 現在、児童生徒数が減少していることが課題であり、教員の数が減少しているということではないと思う。
- ・ もちろん、これは法律で決まっていることであるので、市の判断だけでということではないことは理解している。
- ・ 複式回避ということを強調しているが、令和8年度の統合ということであれば、合川小学校で2年間複式学級が発生することは、どのように説明するのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 南部全体での検討もあるが、西部地域でも児童生徒数が減少している。
- ・ 市全体として、今後、どうしていくのかということについて教育委員会として検討していく。

(参加者)

- ・ 私自身、天名小学校の卒業生である。
- ・ 大学進学を機に県外に出たが、就職で地元に戻ってきた。
- ・ 小学校は、地域コミュニティを形成する上で大事なものである。
- ・ 天名地区では、登下校の際に、地域の方が見守りで立ってくれている。そういった地域であることを認識いただきたい。
- ・ 「郡山小学校に入る」という表現があったが、これは、「郡山小学校に天名小学校や合川小学校の子どもたちを入れてあげる」という認識につながりかねない。こういった気持ちがいじめにつながる要因にもなるので、表現には十分気をつけていただきたい。
- ・ 郡山小学校を含めた統合を挟まず、小中一貫校を議論に入れれば、天名、合川、郡山、栄の4つの小学校の児童が新たな小学校に通うことになり、これまで意見として出ていた問題も解決できるのではないかと。
- ・ 本日の説明では、天名と合川の2つの小学校がなくなることで、行政として、財政的な負担を減らせられるという考えが基にあるように感じてしまう。
- ・ 例えば、合川小学校での複式学級が発生する時期に統合が間に合わないのであれば、三重県の南部で複式学級の経験のある教員を配属させるなど対応を考えているのか。
- ・ 子どもを第一に考えた教育環境を整えるというのであれば、相応の内容で説明をしてほしい。

(参加者)

- ・ 学童をどうするのか、考えを聞かせてほしい。

(教育委員会事務局)

- ・ 今後、統合という方向が決まれば、担当部署が中心となり、場所も含めてどうい

った運営としていくのか協議検討を行っていくことになる。

- ・ 検討を進めていく際には、皆様の御意見も聞かせていただきたいと考えているので、引き続き、よろしくお願いします。

(参加者)

- ・ 現時点では、決まっていないということか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。

(参加者)

- ・ 私は、あり方検討会議のメンバーであり、自治会長を務めている立場でもある。
- ・ 地域住民、教育委員会、それぞれの意見や考えを聞いている。
- ・ その中で教育委員会にお願いしたいのは、次の段階、天栄中学校区全体、さらには、市の南部地域で、小中一貫校あるは義務教育学校に向けた検討を早めに進めていただきたい。
- ・ 具体的に言えば、来年、策定する総合計画の中に盛り込んでいただきたい。
- ・ 地域住民として、地元の学校が無くなることは、もちろん寂しい気持ちである。
- ・ ただ、学校が無くなろうと、地域で子どもたちを育てていくという考えは不変であると考えている。
- ・ 統合という方向に進むのであれば、我々地域住民が、地域として、子どもたちをどのように育てていくのか考えていかなければならない。
- ・ 見守りや声掛けや地域のイベントなど、地域として、どうしていくのか、地域住民が中心となって考えていかなければならない。
- ・ 本日の説明会でも、多くの意見が出されていたが、そういった思いを集約して、地域として子どもたちをどのように育てていくのか考えていきたいので、今後も協力をいただくようお願いしたい。
- ・ スクールバスや跡地問題について検討していく際は、教育委員会には地域住民の意見や考えを丁寧に吸い上げていただくよう、お願いします。
- ・ 天栄中学校区の地図を眺めていると、ちょうど真ん中は天名地区になる。
- ・ 小中一貫校や義務教育学級を検討する際は、そういったことも含めて議論いただけるとありがたい。
- ・ 地域の皆さん、協力をよろしくお願いします。

(教育長)

- ・ 本日は、多くの御意見をいただき、感謝申し上げます。
- ・ 長い歴史を有する小学校の地域の皆様の意見を伺い、その伝統をしっかりと引き継いでいけるよう検討していきたい。
- ・ 苦渋の決断をしていただいている方も多くいらっしゃることは認識している。
- ・ そういった思いを踏まえて、教育委員会としては真摯に対応していきたい。
- ・ 全ての方の考えや意見に沿うということは難しいが、そういった気持ちを踏まえて、取組を進めていきたいと考えている。
- ・ 何とぞ協力をお願いします。

(参加者)

- ・ 統合後の校舎は郡山小学校の校舎を使うことが決まっているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 教育委員会としては、郡山小学校の校舎を使う方向性で進めたいと考えている。

(参加者)

- ・ 複式学級を回避するために、郡山小学校の校舎を使用した形で3校が統合し、その後、南部地域で学校の再編を考えていくことで合っているか。
- ・ 私たちは今後も天名地区に住んでいくため、中長期的な視点で説明をお願いしたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 南部における学校の再編については、並行して検討していく。

(参加者)

- ・ 学校名や校歌はどうなるのか。
- ・ 学校名や校歌を変えることの必要性については、郡山小学校に強く伝えてほしい。

(教育委員会事務局)

- ・ 方向性が決まった後、学校名や校歌について3校で検討したい。
- ・ 今後、南部全体で学校の再編を考えていく際には意見を聞く場を持ちたいと考えているので、今後とも御理解と御協力をお願いしたい。

以上